

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公表番号】特表2018-524086(P2018-524086A)

【公表日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2018-033

【出願番号】特願2017-567322(P2017-567322)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/09 5 5 0

A 6 1 M 25/09 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可撓性の細長い部材と、

前記可撓性の細長い部材の遠位部分に結合された感知素子と、

を有する感知ガイドワイヤにおいて、前記可撓性の細長い部材の前記遠位部分が、

コア部材と、

接着剤及び複数の接続スリーブにより前記コア部材に固定される成形リボンと、
を有する、ガイドワイヤ。

【請求項2】

前記コア部材が、ニチノールで形成される、及び／又は前記成形リボンが、ステンレス
鋼で形成される、請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項3】

前記ガイドワイヤが、前記成形リボンの遠位部分に結合された丸められた先端を有し、
隨意に、前記丸められた先端が、前記成形リボンの前記遠位部分にはんだ付けされる、
請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項4】

前記成形リボンが、前記コア部材から遠位方向に延在する、請求項1に記載のガイドワ
イヤ。

【請求項5】

前記接着剤が、ウレタン接着剤、シリコン接着剤、エポキシ及びアクリレートからなる
接着剤のグループから選択された接着剤を含む、請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項6】

前記複数の接続スリーブが、高分子接続スリーブを含む、請求項1に記載のガイドワ
イヤ。

【請求項7】

前記感知素子が、圧力センサ又は流量センサを含む、請求項1に記載のガイドワイヤ。

【請求項8】

感知ガイドワイヤを形成する方法において、

コア部材を取得するステップと、

成形リボンを取得するステップと、
前記コア部材の遠位部分に隣接して前記成形リボンを配置するステップと、
前記成形リボン及び前記コア部材の周りに複数の接続スリーブを配置するステップと、
前記成形リボンを前記コア部材に固定するように前記複数の接続スリーブ内に接着剤を
導入するステップと、
感知素子を前記コア部材に結合するステップと、
を有する方法。

【請求項 9】

前記コア部材が、ニチノールで形成される、及び／又は前記成形リボンが、ステンレス
鋼で形成される、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記方法が、前記成形リボンの遠位部分に丸められた先端を結合するステップを有し、
随意に、前記丸められた先端が、はんだ付けにより前記成形リボンの前記遠位部分に結合
される、請求項8に記載の方法。

【請求項 11】

前記成形リボンが、前記コア部材を越えて遠位方向に延在するように前記コア部材の前
記遠位部分に隣接して配置される、請求項8に記載の方法。

【請求項 12】

前記接着剤が硬化した後に前記複数の接続スリーブの少なくとも1つを取り除くステッ
プを有する、請求項8に記載の方法。

【請求項 13】

前記接着剤が、ウレタン接着剤及びシリコン接着剤からなる接着剤のグループから選択
された接着剤を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 14】

前記コア部材の前記遠位部分に隣接して前記成形リボンを配置するステップが、前記成
形リボン及び前記コア部材の周りに前記複数の接続スリーブを配置するステップの前に実
行される、請求項8に記載の方法。

【請求項 15】

前記複数の接続スリーブが、前記コア部材の前記遠位部分に隣接して前記成形リボンを
配置するステップの前に前記コア部材又は前記成形リボンの少なくとも1つの周りに配置
される、請求項8に記載の方法。